

2025 年度 外部評価報告書

2025 年 10 月

沖縄キリスト教学院大学

沖縄キリスト教短期大学

目 次

- 1. 外部評価の実施について P 1
- 2. 外部評価委員会出席者名簿 P 2
- 3. 外部評価委員会議事録（概略） P 3
- 4. 自己点検・評価・改善委員会議事録（一部抜粋） . . . P 7

Ⅰ．外部評価の実施について

学校法人沖縄キリスト教学院は、2022 年 3 月に第 5 次中長期計画（計画期間：2022～2027 年度）を策定した。第 5 次中長期計画では、初の試みとして各施策にできる限り数値目標を設定したアクションプランを併せて策定し、毎年度進捗状況を点検することとしている。沖縄キリスト教学院大学及び沖縄キリスト教短期大学（以下、「本学」という）では、この取り組みを実質化し、そして社会のニーズと照らし合わせながら都度反映できるよう、中長期計画の取組状況を外部評価委員会へ諮ることとした。

ついては、沖縄キリスト教学院外部評価委員会規程に則り、2025 年度外部評価委員会を 2025 年 8 月 27 日に実施し、学外の学識者や地域から選出した外部評価委員と学内関係者において活発な意見交換を行った。

報告書としては、外部評価委員会議事録（概略）と、外部評価結果を学内に報告し取組に反映するための自己点検・評価・改善委員会議事録をもって取りまとめることとする。

2. 外部評価委員会出席者名簿

(1) 外部評価委員

分 野	氏 名	所 属 ・ 役 職
地域	島田 純	沖縄県立西原高等学校 校長
地域	入田里 幸治	西原町役場 総務部企画財政課主幹
学識	山城 莉乃	Y's English School 代表

(2) 沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学役員・教職員

役 職	氏 名	所 属
理事長・学長	金 永秀	学校法人沖縄キリスト教学院 沖縄キリスト教学院大学 沖縄キリスト教短期大学
副学長	上地 恵龍	沖縄キリスト教学院大学 人文学部 観光文化学科 特任教授
人文学部長	新垣 誠	沖縄キリスト教学院大学 人文学部 英語コミュニケーション学科 教授
短期大学部長	照屋 建太	沖縄キリスト教短期大学 地域こども保育学科 教授
教学支援部長 IR センター長	城間 仙子	沖縄キリスト教学院大学 人文学部 英語コミュニケーション学科 教授
学生支援部長	新垣 友子	沖縄キリスト教学院大学 人文学部 英語コミュニケーション学科 教授
事務局長	與那原 馨	学校法人沖縄キリスト教学院
企画推進課長	真栄田 美奈	学校法人沖縄キリスト教学院

3. 外部評価委員会議事録（概略）

2025 年度沖縄キリスト教学院外部評価委員会 議事録

日 時：2025 年 8 月 27 日（水）13：30～15：30

場 所：大会議室

外部評価委員：島田純（沖縄県立西原高等学校校長）、入田里幸治（西原町役場総務部企画財政課主幹）
山城莉乃（Y's English School 代表）

学内出席者：金永秀（学長）、上地恵龍（副学長）、照屋建太（短期大学部長）、城間仙子（教学支援部長兼 IR センター長）、新垣友子（学生支援部長）、真栄田美奈（企画推進課長）

陪 席：原田春美（教務課長）、中田竜次（学生課長）、
内間貴士（企画推進課書記）、森龍人（企画推進課書記）、大塚千穂（企画推進課書記）

欠 席 者：新垣誠（人文学部長）、與那原馨（事務局長）

真栄田企画推進課長の進行により次第に沿って進め、島田委員を委員長として全会一致で選出後は、以下の議題について島田委員長により進行した。

議題

1. 第 5 次中長期計画 2024 年度自己点検結果について

資料について真栄田企画推進課長より説明し、金学長より 2024 年度自己点検結果について総括を述べた。

— 資料説明内容 省略 —

金 学 長：

- ・ 第 5 次中長期計画では数値目標を定め、達成状況を活性化するため数値化に取り組んだ点が特徴である。
- ・ 2024 年度の主要な達成項目は、中長期目標Ⅲ「(4) 新学部・学科設置、改組」で計画した改組転換についてである。2024 年 4 月に沖縄キリスト教学院大学人文学部に「観光文化学科」を新設し、沖縄キリスト教短期大学英語科は募集停止、保育科の学科名称を地域こども保育学科へ変更し、新たな教育組織を構築した。
- ・ 韓国の韓信大学校と交換留学交流に係る協定を締結するなど、国際交流プログラムの推進に向け取り組んだ。中長期目標Ⅱ「沖縄社会とアジアと世界への貢献」に具体性を持って取り組み、中長期目標Ⅰ「教育の充実と学生の満足度向上」の達成にも繋がっていった。
- ・ 2023 年度短大認証評価の結果は適格、2024 年度四大認証評価の結果は適合と認定され、建学の精神を基盤とした教育がなされているという評価を受けたが、事業計画に向け活発に取り組んだ結果でもあると捉えている。

続いて、資料をもとに以下の内容の意見交換がなされた。

【意見交換】※以下の意見交換については、議事録より編集・抜粋し掲載

〈事前配布資料〉

第5次中長期計画 2024 年度自己点検結果

第5次中長期計画アクションプラン 2024 年度取組結果

Q 「学習支援センターの強化」(中長期目標Ⅰ(1)⑤)において、観光文化学科(2024年度新設)の活動はどうか。

〈本学の回答〉

- ・ 観光文化学科では、通常の授業改善アンケート(前期1回・後期1回)に加え、学期の途中でも授業アンケートを実施し学生のニーズを捉え、結果を会議で共有し教授方法の創意工夫、改善に役立っている。
- ・ 学生との面談や保護者も含めた三者面談などを積極的に実施している。

Q 「安定的な学生の確保」(中長期目標Ⅲ(1))に関して全国的な課題と思われる。地域の保育士確保は課題であり、短大の果たす役割の重要性を感じている。大学として入学定員の課題についてどのように考えているのか。

〈本学の回答〉

- ・ 志願者確保については、大学全体で最優先課題としている。
(入学定員充足率については、「アクションプラン 2024 年度取組結果」掲載)
- ・ 全国的に短期大学の学生募集が厳しく保育系の志願者数も減少している状況であるが、地域こども保育学科の魅力発信として授業の見える化に取り組み、オープンキャンパスの工夫や広報誌での授業紹介、Zoomによる入試説明会を積極的に行っている。

Q 県外からの入学者についての現状、県外の募集についてはどうか。

〈本学の回答〉

- ・ 県外学生については少数である。現在は県内を中心に入試ガイダンス等で高校生との接点を増やしているが、県外ガイダンスへの参加も考えている。

Q リスキリング推進という社会の動きもあり、夜間課程という可能性も考えられるか。

〈本学の回答〉

- ・ 夜間課程についてはニーズの掘り起しに至っておらず現在検討していない。夜間プログラムは公開講座で提供している。

Q 「修学ポートフォリオ」(中長期目標Ⅰ(1)③)で、学生が自主的な振り返りや目標設置、自己評価を行うことは大変重要である。修学ポートフォリオの記入率は年次が進むにつれ減少しているが、工夫や効果について教えてほしい。

〈本学の回答〉

- ・ 英語コミュニケーション学科では、修学ポートフォリオは学生の履修登録の際に入力を強く推奨している。初年次授業フレッシュマン・セミナーにおいて、意義の説明や指導を行っているが、学年進行に伴う入力率の低下や自己点検の習慣化については課題がある。

- ・ 観光文化学科では、英語コミュニケーション学科に倣い修学ポートフォリオを運用している。多様な学生に対応するため、教員と学生との相性も考慮したペア教員体制の下、指導記録はポートフォリオで情報共有している。教員から学生へ関心を持ち積極的に関わることが重要であり、学生への対応に力を注いでいる。
- ・ 地域こども保育学科では、学生状況についての情報を共有・把握し、学生対応している。修学ポートフォリオへの学生記入については、履修登録の際に記入するよう指導している。

Q 多様な学生に対し教職員の対応力が求められるが、「FD ワークショップ」（中長期目標 I (1) ③【英語コミュニケーション学科】）において、教職員がその場に合ったアドバイスを学生に行うための資質を高めるトレーニング等がなされているのか。学修支援や学生相談の最初の窓口は普段接している教員になると思われる。

〈本学の回答〉

- ・ 学生対応に関する研修として、FD だけでなく SD においても学生への対応や相談体制の構築について学んでいる。最初の窓口となる教員の学生への適切な言葉かけ、カウンセリングに繋げるまでの対応は大切である。
- ・ ハラスメントに関する SD も定期的に実施している。指導とハラスメントの境目を全員が意識し注意している状況である。
- ・ 気になる学生に関しては個人のプライバシーに配慮しながら学内サポート体制を構築している。

Q 「英語教育センター」（中長期目標 I (1) ④）に関連して、（英語コミュニケーション学科）英検 IBA、英検への対応について伺いたい。

〈本学の回答〉

- ・ 英語教育センターの支援としては、英検の 2 次試験に関し、英検ブリッツ（対策）を通し合格に向けた対策を行っている。

Q ICT を活用した教育システムの構築（中長期目標 I (5) ②b）「BYOD の推進」において 70% の達成に至らず、全学生の保有にならなかったのはなぜか。

〈本学の回答〉

- ・ 大学にパソコン教室を整備し自らパソコンを持ち込まずとも授業を受けることが可能なため、学生の大学への持ち込み率が 100%になっていない可能性がある。大学には Windows PC 教室、Mac PC 教室が整備されている。
- ・ 入学時にパソコン購入を義務付けておらず、学生には 1 年次の後期か 2 年次まで待ち、必要な機能を自分で判断できるようになってからの購入を進めている。

Q 語学検定などの資格試験・検定は多くあるが、大学においては、どのようなニーズを意識して何の資格・免許を選定しているのか。

〈本学の回答〉

- ・ 英語コミュニケーション学科は、語学系資格（実用英語技能検定、TOEIC 等）、コミュニケーション検定、中学校・高校教諭免許に加え、星槎大学の通信課程を受けることで小学校教諭免許状、特別支援学校教諭免許状を取得することも可能である。
- ・ 観光文化学科は、設置に当たり就職に強い学科というイメージを確立するため、目指せる資格・検定（TOEIC、英検、韓国語能力試験、中国語検定、ホテルマネジメント技能検定、世

界遺産検定、沖縄食材スペシャリスト検定 等)を検討した。就職面接時に、資格取得の目的を学生が話せるというプラス面もある。

- ・ 地域こども保育学科では、保育士資格や幼稚園教諭二種免許に加え、認定絵本士、児童厚生二級指導員の資格取得が可能である。資格については学生のニーズや他大学情報を参考に選択し、カリキュラムに位置付けられた授業科目で取得できるようにしている。幼保英検については受験のためのサポート体制を構築している。

Q 観光文化学科は、平和産業としての観光という視点や建学の精神と連動した取り組みがよいと感じるが、学びの方向性はどうか。

〈本学の回答〉

- ・ 観光と文化、観光と平和の重要性、観光と第一次産業の関係性、地域への還元性を、観光文化学科であることの強みを活かして学生は学んでいる。

4. 自己点検・評価・改善委員会議事録（一部抜粋）

（1）沖縄キリスト教学院大学 自己点検・評価・改善委員会議事録

2025 年度 第 3 回
沖縄キリスト教学院大学 自己点検・評価・改善委員会
議 事 録

日 時： 2025 年 9 月 22 日（月）13：30～14：30 ※四大・短大同時実施
場 所： 大会議室
構 成： ■金 永秀（学長・委員長） ■新垣 誠（人文学部長・研究科長）
■城間 仙子（教学支援部長） ■新垣 友子（学生支援部長）
■上原 明子（図書館長） ■小嶺 千尋（英コミ学科長）
■平野 典男（観光文化学科長） ■與那原 馨（事務局長）
■真栄田 美奈（企画推進課長）
欠 席： ■許 伯基（宗教部長代行）
陪 席： ■内間 貴士（企画推進課書記）

【審議事項】

■ 1：外部評価実施報告

別紙①「2025 年度 沖縄キリスト教学院 外部評価委員会 議事録」

◆2025 年 8 月 27 日（水）に、「2025 年度沖縄キリスト教学院外部評価委員会」が実施された。当該委員会では「第 5 次中長期計画及び第 5 次中長期アクションプラン」に基づく取り組み内容の進捗状況結果を中心に、外部評価委員、学内出席者にて議論を行っている。今回の会議の内容については、真栄田委員より別紙①「2025 年度沖縄キリスト教学院外部評価委員会 議事録」を基に報告がなされ、その内容、公表について「問題なし」として全会一致で承認された。

なお、後日、当該議事録の内容（概略）を包括した「外部評価報告書」を作成し、本学公式ウェブサイトにて公表される。また、外部評価委員からの提言及び意見については、学内担当部署にて内容を共有し、点検評価・改善向上に反映させるよう確認がなされた。

<外部評価委員の意見・質問等の一部抜粋報告>

今年度は教学に係る意見が多かった印象である。外部評価委員からの提言及び意見については、以降の中期計画や事業計画に反映していくこととする。

（1）外部評価委員よりの質問・意見等

- ・学習支援センターの強化【中長期目標Ⅰ（1）⑤】に係る意見・質問等
- ・安定的な学生の確保【中長期目標Ⅲ（1）】に係る意見・質問等
- ・県外からの入学者についての現状、県外の募集【※中長期目標Ⅲ（1）】に係る意見・質問等
（詳細は別紙①P2 参照）
- ・修学ポートフォリオ【中長期目標Ⅰ（1）③】に係る意見、質問等
（意見抜粋）学生が自主的に自身の学びを振り返ることは重要である。

- ・FD ワークショップ【中長期目標Ⅰ(1)③】に係る意見・質問等

(詳細は別紙①P3 参照)

- ・(質問抜粋) 語学検定などの資格試験検定について【中長期目標Ⅰ(2)③】、誰のどのようなニーズを意識して選定しているのか。

(詳細は別紙①P5 参照)

- ・包括連携協定に基づいた高大連携【中長期目標Ⅱ(1)⑤】に係る意見・質問等

- ・ICT を活用した教育システムの構築(中長期目標Ⅰ(5)②)に係る意見・質問等

(詳細は別紙①P4 参照)

(2) 沖縄キリスト教短期大学 自己点検・評価・改善委員会議事録

2025 年度 第 3 回

沖縄キリスト教短期大学 自己点検・評価・改善委員会 議 事 録

日 時： 2025 年 9 月 22 日 (月) 13 : 30～14 : 30 ※四大・短大同時実施
場 所： 大会議室
構 成： ■金 永秀 (学長・委員長) ■照屋 建太 (短期大学部長／ALO)
■城間 仙子 (教学支援部長) ■新垣 友子 (学生支援部長)
■上原 明子 (図書館長) ■大城 りえ (地域こども保育学科長)
■與那原 馨 (事務局長) ■真栄田 美奈 (企画推進課長)
欠 席： ■許 伯基 (宗教部長代行)
陪 席： ■内間 貴士 (企画推進課書記)

【審議事項】

■ 1 : 外部評価実施報告

別紙①「2025 年度 沖縄キリスト教学院 外部評価委員会 議事録」

◆2025 年 8 月 27 日 (水) に、「2025 年度沖縄キリスト教学院外部評価委員会」が実施された。当該委員会では「第 5 次中長期計画及び第 5 次中長期アクションプラン」に基づく取り組み内容の進捗状況結果を中心に、外部評価委員、学内出席者にて議論を行っている。今回の会議の内容については、真栄田委員より別紙①「2025 年度沖縄キリスト教学院外部評価委員会 議事録」を基に報告がなされ、その内容、公表について「問題なし」として全会一致で承認された。

なお、後日、当該議事録の内容(概略)を包括した「外部評価報告書」を作成し、本学公式ウェブサイトにて公表される。また、外部評価委員からの提言及び意見については、学内担当部署にて内容を共有し、点検評価・改善向上に反映させるよう確認がなされた。

<外部評価委員の意見・質問等の一部抜粋報告>

今年度は教学に係る意見が多かった印象である。外部評価委員からの提言及び意見については、以降の中期計画や事業計画に反映していくこととする。

(1) 外部評価委員よりの質問・意見等

- ・学習支援センターの強化【中長期目標Ⅰ(1)⑤】に係る意見・質問等
- ・安定的な学生の確保【中長期目標Ⅲ(1)】に係る意見・質問等
- ・県外からの入学者についての現状、県外の募集【※中長期目標Ⅲ(1)】に係る意見・質問等
(詳細は別紙①P2 参照)
- ・修学ポートフォリオ【中長期目標Ⅰ(1)③】に係る意見、質問等
(意見抜粋) 学生が自主的に自身の学びを振り返ることは重要である。
- ・FD ワークショップ【中長期目標Ⅰ(1)③】に係る意見・質問等
(詳細は別紙①P3 参照)
- ・(質問抜粋) 語学検定などの資格試験検定について【中長期目標Ⅰ(2)③】、誰のどのようなニーズを意識して選定しているのか。
(詳細は別紙①P5 参照)
- ・包括連携協定に基づいた高大連携【中長期目標Ⅱ(1)⑤】に係る意見・質問等
- ・ICT を活用した教育システムの構築(中長期目標Ⅰ(5)②)に係る意見・質問等
(詳細は別紙①P4 参照)